

## 第4章

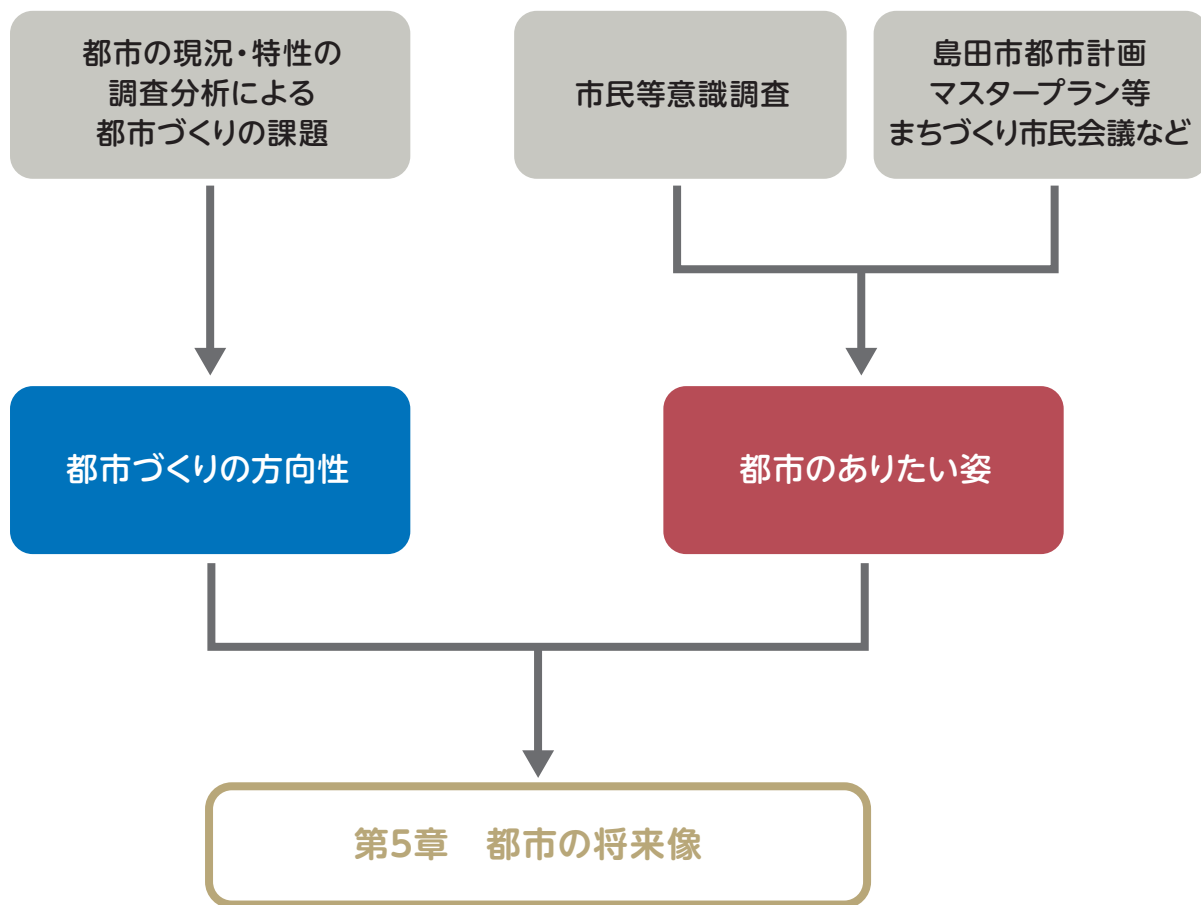
# 都市づくりの課題と方向性



## 1 課題と方向性の整理方法

都市の現況・特性の調査分析による「都市づくりの課題」から「都市づくりの方向性」を、また市民等意識調査結果及び島田市都市計画マスタープラン等まちづくり市民会議などの意見から「都市のありたい姿」を整理します。

### 都市づくりの課題と方向性の整理の方法



## 2 都市づくりの課題と方向性

都市の現況・特性の調査分析から、都市づくりの課題と方向性を次のとおり整理します。

### 都市の現況・特性の調査分析による都市づくりの課題

#### ■人口・土地利用

- ・今後20年間で、現在の98,000人から約80,000人へ約20%の人口減の予測
  - ・合計特殊出生率は全国平均1.46に比べやや高い1.54
  - ・大学進学・就職時に市外流出が多いが、20歳代後半は転入超過の傾向
  - ・市街地は45年間で2倍拡大するも人口密度は低下し、今後市街地としての目安である40人/ha以下となる懸念
- 人口減少社会における持続可能な都市構造の形成

#### ■生活サービス施設・公共公益施設

- ・旧市町の中心部周辺は生活サービス施設などが立地し利便性は高い
- 旧市町中心部の都市機能の維持・充実

#### ■都市基盤・交通

- ・都市計画道路の整備率は高い
  - ・自動車依存度が周辺都市の平均よりも高い
  - ・東海道本線、大井川鐵道大井川本線により、公共交通の骨格を形成
  - ・鉄道、バスの公共交通網が市内全体を網羅するが、人口の約19%が公共交通空白地域に居住
  - ・都市計画公園・緑地の整備率は低い
- 道路・公共交通のストックを活かした移動の利便性の維持・充実
- 人口減少などを踏まえた都市基盤の整備・維持管理

#### ■都市経営

- ・生産年齢人口の減少による税収減、高齢化による社会保障関連費の増加
  - ・公共施設・インフラ老朽化による維持管理費の増加
- 人口減少・高齢化を踏まえた持続可能な都市経営

### 都市づくりの方向性

- ・人口減少社会においても持続可能となるコンパクトな都市構造の形成
- ・地域の拠点に都市機能を誘導し、誰もが暮らしやすい都市構造の形成
- ・地域の拠点周辺における、誰もが暮らしやすい居住環境の創出
- ・多様な交通手段による、拠点間を結ぶネットワークの形成
- ・選択と集中による効果的な都市基盤（道路、公園緑地など）の整備、維持管理

都市の暮らしやすい

都市の安全安心

#### ■空き家

- ・空き家の増加
- 安全安心な都市づくりに向けた空き家の利活用・除却

#### ■災害危険性

- ・地震時津波の危険性はないが、一部で液状化の危険性がある
  - ・市街地の一部は大井川の洪水浸水想定区域内
  - ・用途地域の外縁部などが、土砂災害警戒区域の指定地
  - ・避難所は適正配置されている
- 大規模災害に備えた防災・減災の取り組みの推進

- ・安全安心な都市づくりに向けた、空き家の発生抑制、利活用又は除却の促進
- ・大規模災害に備えたソフト・ハードにわたる防災・減災の取り組みの推進

都市の現況・特性の調査分析による都市づくりの課題

都市づくりの方向性

都市の活力

■都市基盤・土地利用

- ・東名・新東名高速道路、国道1号など広域幹線道路の要衝
- ・世界とつながる富士山静岡空港の立地
- ・新東名高速道路 IC 周辺に用途地域拡大

→交通利便性を活かした産業振興

■産業

- ・茶業や大井川の水資源を活用した産業の発達
- ・製造業における事業所数・製造品出荷額の減少
- ・通勤流動における他市町への流出超過

→地域特性を活かした産業振興や企業誘致による働く場の創出

- ・交通の要衝である利便性を活かした産業振興

- ・産業用地の整備や低・未利用地の有効活用による、新たな企業誘致や働く場の創出

- ・産業の高付加価値化やブランド化の推進

都市の魅力

■商業

- ・商店・従業員数の減少
- ・中心市街地の空き店舗・空き地の増加

→中心市街地の活性化によるにぎわいの創出

■観光・情報発信

- ・大井川、旧東海道、大井川鐵道の SL、温泉などの豊富な観光資源による観光客、宿泊客の増加
- ・島田市緑茶化計画によるシティプロモーションの展開

→地域資源を活用した観光拠点の整備・充実、情報発信の推進

■交流人口・関係人口

- ・市民、各種団体が主体となって地域の魅力を高める取り組みが実施されており、交流人口・関係人口が増加

→人口減少社会においても持続可能な都市の実現のための、交流人口・関係人口の拡大

- ・まちの顔となる中心市街地における、にぎわいの創出

- ・今後の成長が見込まれる観光産業を中心とした、新たなにぎわいの創出

- ・地域資源を活用した観光拠点を結ぶネットワークの構築

- ・市内外に地域の魅力を伝える情報発信の推進

- ・持続可能な都市の実現のための、地域の魅力を高める取り組みを通じた交流人口・関係人口の拡大

都市の環境

■みどり・水

- ・大井川を中心に、豊かな森林や農地が、市街地、集落地の周りに広がり、良好な都市環境に寄与
- ・林業や農業の担い手が減少し良好な森林や農地環境の維持が懸念

→豊かな自然環境の保全・活用、低炭素・循環型都市の形成

■景観

- ・自然、歴史及び文化の良好な景観が存在

→自然、歴史及び文化の良好な景観の保全・活用

- ・豊かな自然環境や都市環境の保全・活用

- ・温室効果ガスの増加による気候変動やエネルギー問題の顕在化を踏まえた、低炭素や循環型都市の形成

- ・自然、歴史及び文化と調和した景観の形成



### 3 都市のありたい姿

第3章の市民等意識調査結果及び島田市都市計画マスタープラン等まちづくり市民会議などの意見より、5つの視点別に都市のありたい姿を次のとおり定めます。

#### 市民等意識調査結果

##### 【本市のイメージで「そう思う」の多数意見】

- ・豊かな自然や水と緑と共生するまち

##### 【本市のイメージで「そう思わない」の多数意見】

- ・活力を創出するまち
- ・にぎわいが生まれるまち

##### 【今後のまちづくりの方向性の多数意見】

- ・暮らしやすいまち
- ・子育てしやすいまち
- ・安全安心のまち
- ・活力やにぎわいあるまち

#### 島田市都市計画マスタープラン等まちづくり市民会議などの意見

##### 【ICT進展などによる、暮らしのゆとりと利便性向上】

- ・情報通信、自動運転などのICTを活用し、距離的・物理的な制約にとらわれず、車を運転しなくても医療・福祉・買物などのサービスを受けることができる。
- ・通勤などの移動に要する時間が削減され、特に働く世代が、育児や家族のために時間を有効利用できる。

##### 【趣味・学びなどを通じた様々なコミュニティの形成】

- ・地域課題の解決のみならず、子育て・健康・趣味・学びなど市民の共通の関心事におけるコミュニティ活動が活発になり、人と人とのつながりが生まれ、思いや楽しみを共有できる環境が広がる。

##### 【時間や場所を問わない、多様な働き方の実現】

- ・在宅勤務やシェアオフィスなどテレワークが一般化し、時間や場所を問わず働くことができる環境が整備される。
- ・多様な働き方が広がることで、仕事と育児や介護などが両立しやすい環境となるとともに、女性や高齢者などの就労が促進される。
- ・豊かな自然や農業と共生した働き方が実現できる。

##### 【自然、歴史及び観光などの資源を活かした、まちのにぎわい向上】

- ・大井川をはじめとした豊かな自然、川越街道、蓬萊橋、大井川鐵道のSLなど、他のまちにない魅力を磨き上げ、つなげることで、多くの観光客が集い楽しむ。
- ・高速道路IC周辺、富士山静岡空港周辺、島田駅周辺といった市の玄関口に、にぎわいの交流拠点を設け島田の魅力を観光客と市民が共に楽しむ。
- ・多くの外国人観光客が島田を訪れ、その魅力を楽しむ。

##### 【誰もが暮らしやすいまち】

- ・医療、スーパー、公共機関などが身近にあり、地域社会における心のバリアフリーが充実する。
- ・駅、道路、公共施設などのバリアフリー化が進む。
- ・障害の有無に関わらず、それぞれが共に支え合う。

### 都市のありたい姿

#### 都市の暮らしやすさ

- ・医療、福祉及び買い物などのサービスが便利に受けられるまち
- ・子育てがしやすいまち
- ・ICTなどが活用された便利なまち
- ・公共交通などにより便利に移動ができるまち
- ・バリアフリー化による誰もが暮らしやすいまち
- ・多様な地域コミュニティを育む拠点が整備されたまち

#### 都市の安全安心

- ・大規模災害や自然災害に強い、防災・減災のまち
- ・街灯の充実などにより、誰もが安心して暮らせるまち

#### 都市の活力

- ・魅力ある企業などの誘致により、若者が働ける場が多く、活気があるまち
- ・場所や時間を問わず、多様な働き方ができるまち

#### 都市の魅力

- ・中心市街地では、若者など多くの市民が集い楽しむことができるまち
- ・大井川をはじめとする多くの地域資源を磨き、つなげることで、外国人も含めた多くの来訪者が集い楽しむことができるまち

#### 都市の環境

- ・豊かな自然環境や都市環境と共生した暮らしができるまち
- ・森林やお茶などの地域資源を活用したまち
- ・産業や住宅地のまち並みが自然環境と調和したまち